

平成23年度 第1回学校評議員会の実施報告書

岐阜県立可茂特別支援学校

学 校 長 原 武 志

学校住所 美濃加茂市牧野2007-1 電話 0574-28-3150

1 会議の名称 岐阜県立可茂特別支援学校学校評議員会

2 会議の構成 委 員 板津 幹彦 東和組立株式会社 代表取締役
小川 たか子 中山道発展理事・美濃加茂市商工会女性会理事
佐藤 恒和 可児市養護訓練センター 所長
渡辺 厚 下米田地区自治会長会 会長
渡辺 俊幸 美濃加茂市文化団体連盟 会長

学 校 吉田 和歌子 P T A会長
原 武志 校長
福井 学 事務長
日比野弘美 教頭
武市 忠史 小学部主事
吉田 敏雄 中学部主事
中嶋 伸吾 高等部主事
平野 俊之 教務主任

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を求め、教育活動の活性化につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 平成23年7月11日（月）10：00～12：00
可茂特別支援学校フリー活動室
出席者： 委員5名 学校側8名

5 会議の概要 (1) 学校長挨拶
(2) 学校評議員の委嘱
(3) 学校概要説明
(4) 授業・施設見学
(5) 「作業製品の価格設定」について
(6) 意見交換
(7) その他

6 会議録

(1) 授業見学、学校概要説明についての感想・意見

意見1：過去の恵那特別支援学校のように病弱の障がいのある児童生徒が入るような全寮制の施設を建設する計画はありますか。

学 校：子どもかがやきプランに従って建設される新しい学校は、病弱の障がいの児童生徒が入学できるようになりますので、自宅から通学できるようになります。今後施設を建設する計画はありません。

意見2：可茂地域の児童生徒は全部可茂特別支援学校に通学していますか。

学 校：視覚、聴覚障がいの子童生徒は別ですが、知的障がい、肢体不自由、病弱の子童生徒はほとんど入学しています。しかし、小学部6年、中学部3年、高等部3年の子童生徒は前の学校に残っています。

意見3：恵那特別支援学校は病院の小児科の医者と連携しているが、可茂特別支援学校ではどのようになっていますか。

学 校：一人ひとりの子童生徒の主治医と連携を綿密にとって、個別の教育支援計画に記載し指導にあたっています。

意見4：学校の子童生徒の人数は、例えば、中学部では、1年21名、2年9名、3年9名であるが、この先この1年生の20名ぐらいの数が学年の人数ですか。

学 校：だいたい的人数は現在的人数ですが、新しい学校なので迷われてこれまでの学校に残っている子童生徒もいます。

意見5：学校見学者が多いようだが、そういう方々といろいろ連携していくと良いと思う。

意見6：校舎内をまわっていくと風通しも良く、木材も多く使用されて居心地も良い。今後の就職活動を展開することを考えると、良い場所に建設されたと思う。今後、地域の企業とどのように連携を作っていくか課題であると思う。

意見7：学校ボランティアを希望する場合、どの方を窓口連絡すればよいか。

学 校：渉外部の職員や教頭を窓口にご連絡ください。

意見8：先日学部の集会や交通安全教室を、そして今日は個々のクラスの学習の取り組み等を見学させていただいた。このような学校が身近にあることが大変良いと思う。保護者の悩みや、特別支援教育に携わる職員の相談の窓口となっていたら良い。

学 校：子どもは同じなので、日常的に連絡・連携ができる態勢を作り上げていきたい。

意見9：地元地域として、子童生徒の交通安全の協力はできる限りおこないたい。また、特別な内容ではなく可茂特別支援学校の状況や内容、取り組みを知らせる配布物を回覧すると良いのではないか。

学 校：たとえば「学校だより」等を定期的に発行するように準備したいと思います。

意見10：各市町村の教育施設との連絡・連携をとっていくと、今後の可茂特別支援学校の教育活動への移行がスムーズになるのではないか。また、いろいろな組織や施設と連携を作っていくとボランティアとして活動して頂くこともできると思う。

学 校：新設校として様々なところと関係を作り、本校を知ってもらうように取り組んでいきたいと思う。

(2) 「作業製品の価格設定」について

意見1：販売方法はどのようにするのですか。

学 校：主に学校祭で販売するが、2月頃に近くの店舗で販売するように準備したい。

意見2：学校を表す簡単なオリジナルマークを作成してはどうですか。

学 校：試験的であるが「にこりん」を扱っているが、検討して本校を表すオリジナルマークを考えていきたい。

意見3：校内に常時販売する売店を設置するとか、市岐商デパートのような販売や地域の店舗を利用するとかを計画してはどうですか。

学 校：常時生徒が販売に携わるようにするためには、安定した商品の生産と生徒の技術力の向上が必要となる。今後力を注いでいきたい。

意見4：値段自体は、高くもなく安くもない値段である。商品に特殊性や特化性を付加されると良いのではないか。

意見5：商品は、たくさん使ってもらえる物が良いと思う。そのためには、材質なども考慮して使い易い、使い勝手の良い物を考案すると良い。

学校価格はこれでお認めいただけるか。

※ 異論なく価格については妥当であると認めていただいた。

学 校：数々の貴重な意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に努めたい。

(3) 校章について

学 校：多治見工業高校に原案をお願いしました。この中で2点ほど選んで、投票して頂きたいと思います。校章と校歌は、学校祭での発表を考えています。

(4) その他 (連絡)

①学校評価記入と郵送のお願い。

②第2回評議員会を、平成24年2月に計画をしていることのお知らせ。

7 会議のまとめ

日 程	10:00～10:05	校長挨拶
	10:05～10:20	自己紹介
	10:20～11:00	学校概要説明
	11:00～11:30	学校施設見学
	11:30～12:10	意見交換、給食試食会

本校の児童生徒の実態と学習状況や校舎施設を見学して頂き、ご理解していただくことができた。また、学校経営を幅広い観点から具体的な事例を交えてご指摘していただき、本校の教育活動に対して貴重な意見を伺うことができた。